

# 金沢市低炭素都市づくり行動計画

～ エコシティ金沢 CO<sub>2</sub>百万トン削減をめざして ～

金沢市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）



平成 2 3 年 3 月  
金 沢 市

「金沢市低炭素都市づくり行動計画」は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 20 条の 3 に基づき策定する「地方公共団体実行計画（区域施策編）」です。

本計画における中期目標は、2020 年度に 1990 年度比 15%削減することです。この目標を達成するには、現状で把握している直近年度の 2008 年度より概ね 100 万トンという大幅な温室効果ガス（主に二酸化炭素：CO<sub>2</sub>）の削減が必要です。市、市民、事業者や各種団体が連携・協力して目標を達成し、エコシティ金沢にふさわしい低炭素都市づくりをめざします。

## はじめに

近年、世界各国で気候変動による大きな災害が発生しています。集中豪雨による土石流の発生、異常高温や干ばつによる大規模な森林火災の発生などによる被害は、私たちの生活に多大な影響を及ぼしています。

こうした気候変動は、地球温暖化が主たる要因だと考えられています。地球温暖化の進行は、陸や海などのさまざまな生物、生態系にも影響を与え、豊かな自然環境が失われることにもつながります。

私たち人間は、生物多様性のたくさんの恵みによって、「いのち」と「暮らし」が支えられています。地球温暖化などによって生物多様性のバランスが崩れることで、人類の生存が脅かされることにもなります。

昨年（2010年）は、国連が定めた「国際生物多様性年」であり、また、2011年から2020年を「生物多様性の10年」と位置付け、国際社会が協力して生態系保全に取り組もうとしています。

こうした国際間の取り組みは大切なことであり、さらに、市民一人ひとりができることとして、地域の環境をしっかりと守っていくことが、なにより重要だと考えています。

そこで、地球温暖化防止に向けた施策を計画的に推進し、本市の温室効果ガスの排出量を削減するため、このたび「金沢市低炭素都市づくり行動計画」を策定しました。

今後は、これまで以上に実効性のある施策を進め、市・市民・事業者等がそれぞれの役割と責任を持って地球温暖化対策に取り組むことで、金沢らしい持続可能な低炭素社会の実現をめざしてまいりたいと思っています。

最後に、計画策定にあたり、熱心にご議論いただいた「金沢市環境審議会」、「金沢市地球温暖化対策推進協議会」の各委員をはじめ、ご協力いただいた市民・事業者の皆様にお礼申し上げます。

平成 23 年 3 月

金沢市長 山野 之 義



## 目 次

第1章 計画策定の背景と意義	1
1. 地球温暖化の現状	1
2. 地球温暖化防止に関する国際動向	3
3. 我が国における温室効果ガス排出量の現状と地球温暖化対策	4
4. 計画の基本的事項	7
第2章 金沢市の地域特性	11
1. 自然的特性	11
2. 社会的特性	14
第3章 温室効果ガス排出量の現状と取り組み	21
1. 温室効果ガス排出量	21
2. 温室効果ガス排出量増減要因の分析	28
3. 森林吸収量	38
4. 金沢市における地球温暖化対策の点検・評価	39
5. 温室効果ガス排出量の将来推計（現状趨勢ケース）	42
第4章 計画の基本理念、基本方針と削減目標	47
1. 計画の基本理念と基本方針	47
2. 削減目標の設定	49
第5章 温室効果ガス排出抑制等に関する施策	53
1. 各主体の役割	53
2. 施策の体系	56
3. 市の施策、市民・事業者等の取り組み	57
4. 金沢の特性を活かした排出抑制施策	79
第6章 対策・施策の総括	81
1. 施策ごとの導入スケジュール及び温室効果ガス削減効果	81
2. 部門別温室効果ガス削減効果	90
3. 望ましい将来像	91
第7章 計画の推進体制、進行管理	94
1. 計画の推進体制	94
2. 計画の進行管理	95
参考資料（用語解説）	97